

横須賀港の紹介

環境と共生する湾口物流拠点
をめざして



2013年(平成25年)3月
横須賀市



横須賀港は、三浦半島の東側、東京湾の入口に位置し、北は横浜市との境の夏島町から南は野比海岸までの港湾区域（水域）約5,500ha、臨港地区約283ha、海岸線延長約61kmの港湾です。横須賀港は、追浜、深浦、長浦、本港、新港、平成、浦賀、久里浜などの13の地区があり、横須賀市が港湾管理者となっています。



① 追浜地区



自動車産業、各種研究所、造船所等の企業が立地し、完成自動車の輸出が行われています。

② 深浦地区



各種工場、造船所が立地し、小型船だまり、深浦ボートパークが整備されています。

③ 長浦地区



戦後最初に整備が進められた地区で、捕鯨船の基地として栄えました。現在は、各種工場や倉庫が立地しているほか、海上自衛隊・米軍が利用しています。

④ 本港地区



1865年（慶応元年）、この地に横須賀製鉄所が建設され、港湾としての横須賀港の歴史が始まりました。現在は、海上自衛隊・米軍が利用しています。

⑤ 新港地区



中心市街地に隣接する横須賀港随一の規模を持ち、SOLAS条約（海上における人命の安全のための国際条約）に基づく港湾施設保安計画に対応した国際ふ頭です。

⑥ 平成地区



「海辺の複合リゾート都市」を目標として、職・住・遊・学の機能を融合したまちづくりを進めています。また、大規模地震に備えた耐震強化岸壁が整備されています。

⑦ 大津地区



背後に住居、商業施設が立地しています。こうした背後地の安全・安心を守るため、高潮対策として護岸整備を行っています。

⑧ 馬堀地区



平成7、8年の台風により馬堀海岸一帯が浸水しました。その対策として親水性を備えた護岸の整備を行いました。

⑨ 走水地区



自然の海浜があり、夏は海水浴客でにぎわいます。海浜背後は、水道局の施設があり、湧き水を汲むことができます。

⑩ 鴨居地区



自然豊かな観音崎公園があります。また、東京湾海上交通センターも立地し、東京湾の安全を支えています。海岸背後には住居が立地し、小型船だまりの整備も行っています。

⑪ 浦賀地区



江戸時代から中継貿易港として栄えた歴史ある港です。現在、周辺地域を含めた再整備を進めています。また、浦賀ボートパークが整備されています。

⑫ 久里浜地区



ペリー提督が上陸した開国の地です。東京湾の入口に位置し、船で混雑する浦賀水道航路を通らずに入港できる港です。この港にも耐震強化岸壁が整備されています。

⑬ 野比地区



約5km（港湾区域内は約2km）の砂浜が広がっています。海岸侵食による背後地への被害を防ぐために、離岸堤等の整備を進めています。



横須賀港の名所紹介

PORT OF YOKOSUKA

人々と海がふれあえるウォーターフロントとして、横須賀港の海岸線にはヴェルニー公園から観音崎公園までの海沿いの10kmを結ぶ「うみかぜの路」（海と緑の10,000mプロムナード）が整備され、海辺の憩いのスポットが多くあります。

A ヴェルニー公園



フランス式庭園様式を取り入れた公園です。海沿いには海上自衛隊・米軍の艦船を一望できるボードウォークがあり、潮風とともに散歩を楽しめます。「うみかぜの路」の起点です。

B 戦艦三笠



1902年(明治35年)にイギリスで建造された戦艦です。日露戦争において、東郷平八郎が乗艦する連合艦隊の旗艦として活躍しました。三笠公園内に保存されています。

C 猿島



東京湾唯一の自然島で、海水浴、バーベキュー、釣り、散歩などが楽しめます。三笠園桟橋から渡船が出ています。

D 臨港道路小川三春線沿道緑地



幅10mの遊歩道には、緑や季節の花が植えられ、憩いを感じることができる沿道です。

E うみかぜ公園



海辺ニュータウン内にある芝生緑地です。スケートボードやマウンテンバイクなどが楽しめるスポーツ広場、親水護岸などがあり、イベント会場としても利用されています。

F 海辺つり公園



四季を通じて海釣りができ、芝生や遊具が整備され、家族連れで楽しめる公園です。

G 馬堀海岸高潮対策護岸



高潮による被害を防止するための護岸です。静穏時には、親水施設として、護岸上部を歩けるプロムナード構造となっています。

H 走水観音崎遊歩道



約600mのボードウォークです。青い海が一面に見渡せます。また、浦賀水道航路を行き交う船舶を眺めることができます。

I 横須賀美術館



観音崎公園の中にあり、近くで海水浴や散策も楽しめます。また、周囲には灯台や砲台跡などもあり、自然と歴史を感じながら、ゆったりとした時間を過ごすことができます。

J 観音崎灯台



日本初の洋式灯台で、内部の見学が可能です。初代は、フランス人技師フランソワ・レオンス・ヴェルニーらが設計し、1869年(明治2年)に初点灯しました。大正時代に2度の地震によって倒壊し、現在は3代目となります。

K ペリー記念碑



1853年(嘉永6年)、当時鎖国中だった江戸幕府に開国を求めたため、ペリー提督が黒船4隻を率いて久里浜海岸に上陸しました。碑文は伊藤博文により書かれました。

横須賀港と
首都圏
PORT OF YOKOSUKA



凡例	
	高速・有料道路(供用中)
	高速・有料道路(計画中)
	主要国道
	新幹線
	都県境
	港湾区域

横須賀港は、首都圏の物流を支える東京湾口に位置し、高速道路網の整備により首都圏各地からのアクセスも向上しています。南関東の主要な都市の多くが、横須賀港から60km圏内にあります。

東京湾の浦賀水道航路は、世界でも有数の船舶の行き来で混雑する海域です。このため、航行する船には12ノット（時速約22km）以内という速度規制があり、東京湾の入口から湾奥まで約3時間を要します。しかし、浦賀水道航路を通らずに寄港できる久里浜地区や浦賀地区から陸上交通に切り替えれば、約1時間で都心まで行くことができます。

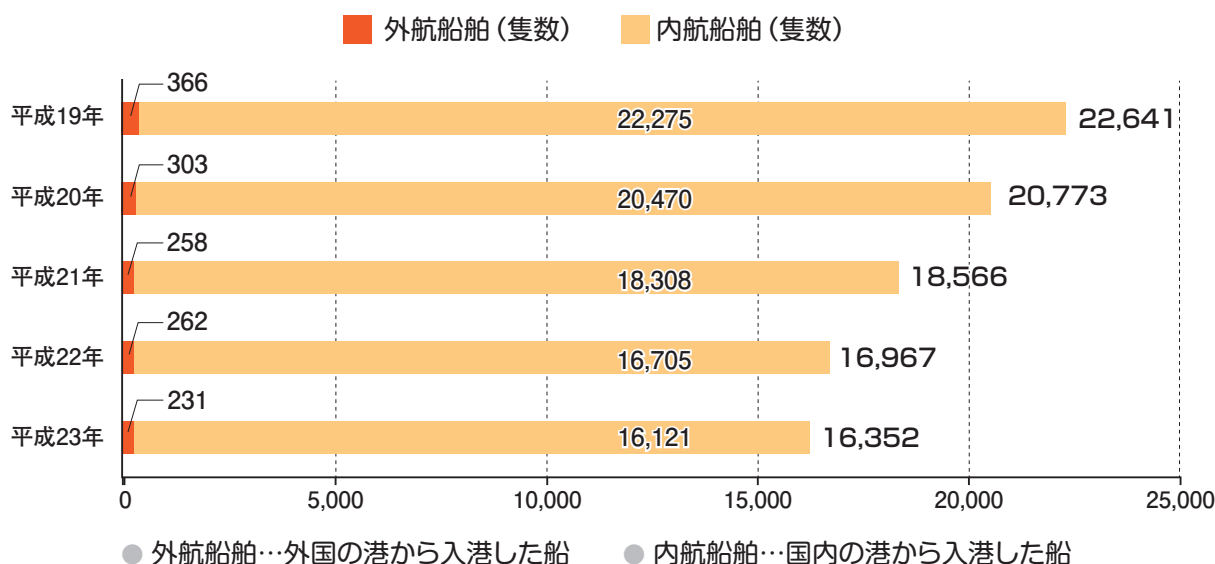
横須賀港は、こうしたメリットを活かした首都圏における内貿ユニットロード^{*}や海を利用する人々の交流の拠点づくりを目指しています。

^{*}内貿ユニットロード：船舶で輸送する貨物をコンテナやパレット等の容器に収納し、フェリー等により効率的に海上輸送すること。



横須賀港で取り扱われる貨物は、自動車（完成品及び部品）とフェリー貨物が大部分を占め、その他に砂利・砂、発電所の燃料に用いる重油などがあります。水産品としては、冷凍マグロの取り扱いが多く、全国有数のマグロ水揚げ港となっています。

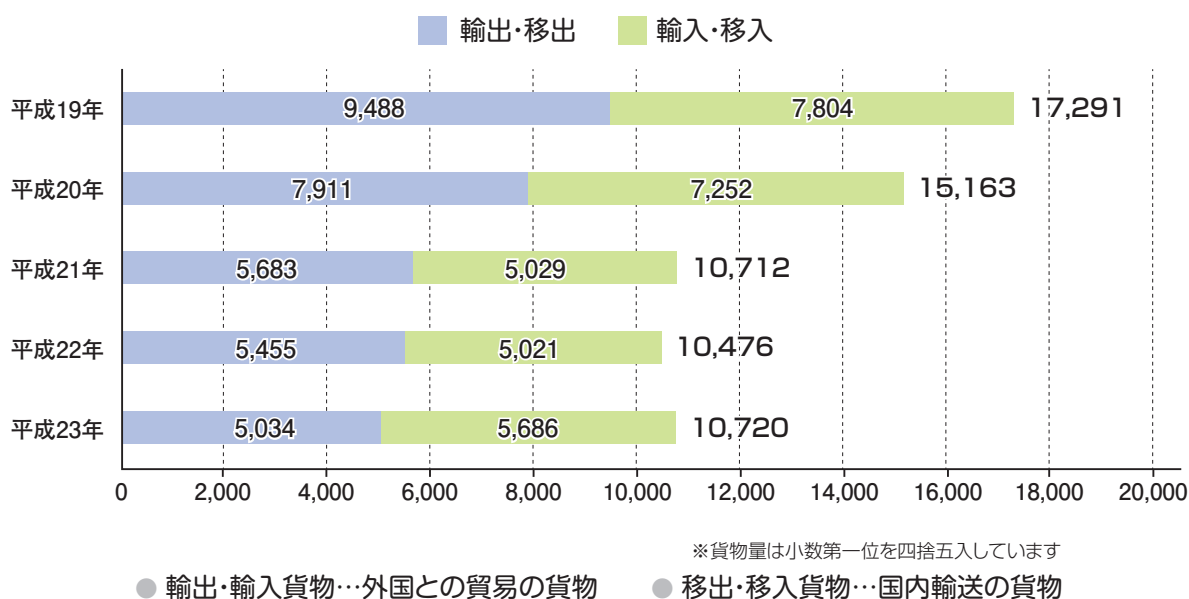
外航・内航別入港船舶隻数の推移（単位：隻）



船舶乗降人員〈平成23年〉

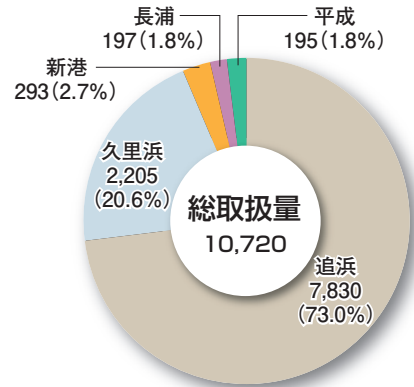
乗込：365,002人	上陸：430,498人	計：795,500人
-------------	-------------	------------

海上出入貨物量の推移（単位：千トン）



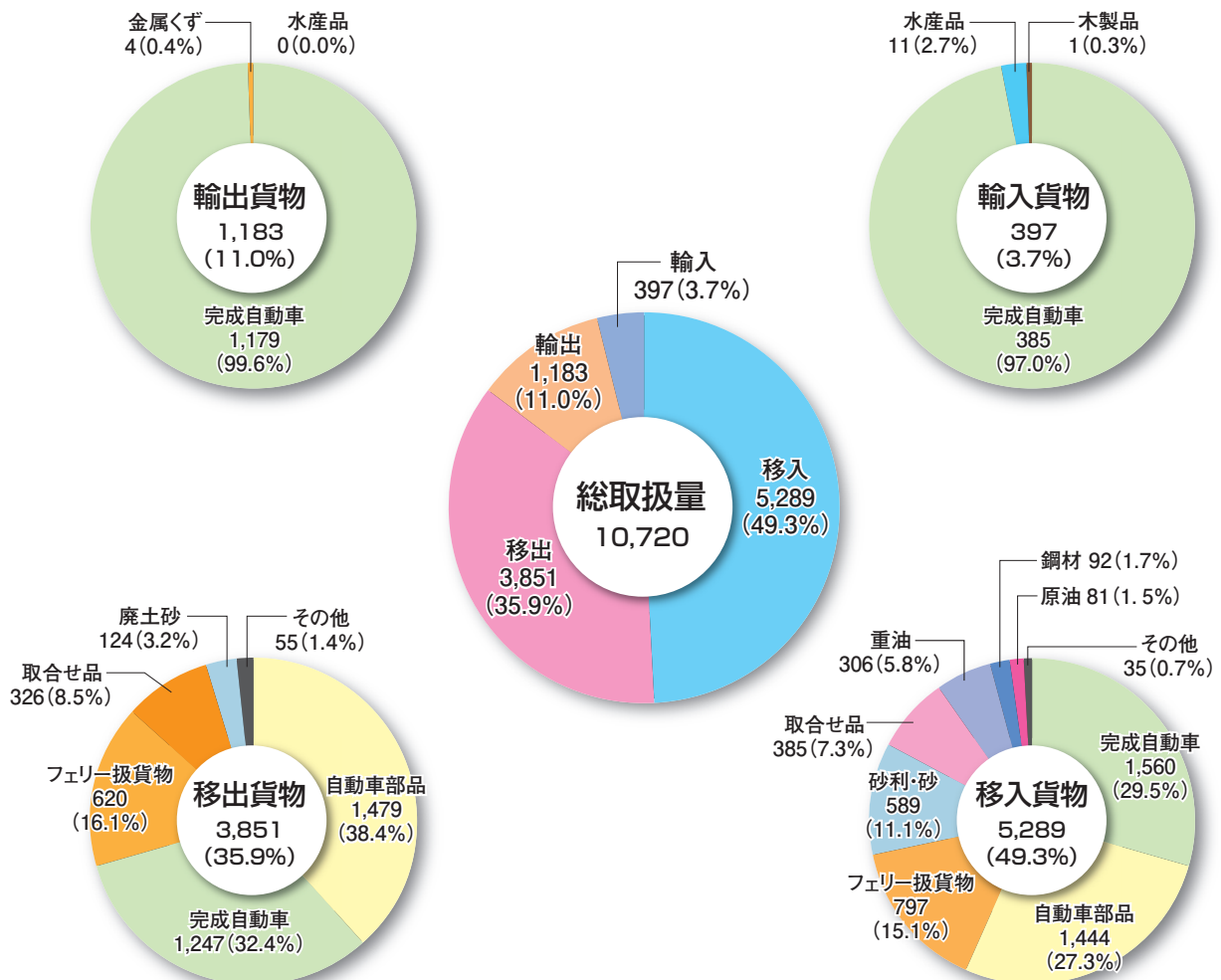
海上出入貨物地区別取扱表〈平成23年〉(単位:千トン)

地区	輸移出	輸移入	計
追浜	3,961	3,869	7,830
長浦	50	146	197
新港	279	14	293
平成	2	193	195
久里浜	741	1,464	2,205
合計	5,034	5,686	10,720



※貨物量は小数第一位、パーセンテージは小数第二位を四捨五入しています

取扱貨物の構成〈平成23年〉(単位:千トン)



※貨物量は小数第一位、パーセンテージは小数第二位を四捨五入しています



横須賀市は、「国際海の手文化都市」を都市像として掲げ、海に囲まれた特性を活かし、海を利用する人々の交流の拠点づくりを目指しています。現在、久里浜地区などでは定期航路が就航しています。

また、1年を通して多くの観光客が訪れ、豊かな自然や歴史的遺産を体感できる猿島や、艦船を間近に見ることができる軍港めぐりなど、人気スポットで四季折々の横須賀の港を楽しむことができます。

1 久里浜 - 浜金谷港



久里浜と千葉県浜金谷港間11.5kmを40分で結ぶフェリーです。

使用船舶：かなや丸、しらはま丸
 乗客定員：580人
 乗用車：110台 バス：16台 トラック：36台

● お問い合わせ先
 東京湾フェリー(株)久里浜支店
 TEL 046-835-8855 (代表)
<http://www.tokyowanferry.com>

2 久里浜 - 大島 (伊豆諸島)



季節限定

夏季を除く時期及び椿まつりの時期に、高速ジェット船で、久里浜と大島間を60分で結びます。期間限定で利島、新島、式根島、神津島まで運航しています。

使用船舶：セブンアイランド
 「愛」、「夢」、「虹」、「友」
 乗客定員：254人

● お問い合わせ先
 東海汽船(株)予約センター
 TEL 03-5472-9999
<http://www.tokaikisen.co.jp>

3 追浜-御前崎-荻田(福岡)-大分



日産自動車の専用ふ頭が整備されている追浜地区と御前崎、荻田、大分を結ぶ貨物専用フェリーです。トレーラーを約600台運搬しています。

使用船舶：みやこ丸

● お問い合わせ先
 商船三井フェリー(株)営業二部
 TEL 03-6853-8006
<http://www.sunflower.co.jp>

4 猿島航路 (新港 - 猿島)



新港(三笠園棧橋)と猿島間を10分で結んでいます。(12月~2月は、土・祝日のみ運行)

使用船舶：シーフレンド1、シーふれんど2
 シーフレンド3
 乗客定員：150人(シーフレンド1、シーふれんど2)
 79人(シーフレンド3)

5 軍港めぐり



本港地区内の軍港施設を45分で周遊します。

使用船舶：シーフレンド5
 乗客定員：150人

● お問い合わせ
 (株)トライアングル
 TEL 046-825-7144 (三笠営業所)
<http://www.tryangle-web.co.jp>



横須賀港への
客船の寄港
PORT OF YOKOSUKA

横須賀港の新港地区、久里浜地区には客船が寄港します。船内見学会や市民クルーズなども実施され、多くの市民が港と親しめる機会となっています。

飛鳥II



おがさわら丸



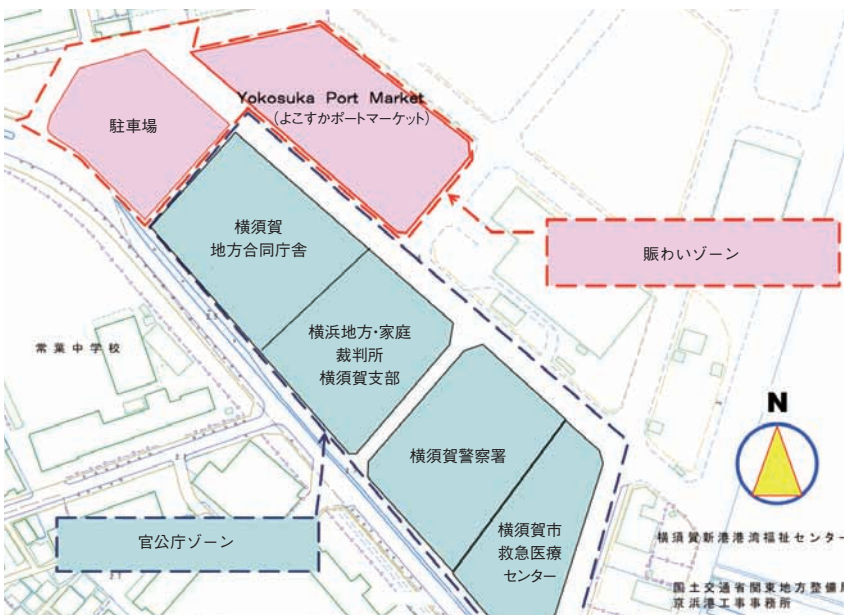
にっぽん丸



新港埠頭
交流拠点
PORT OF YOKOSUKA

新港埠頭の一部区域を交流拠点用地として位置付け、各種店舗が立地する「賑わいゾーン」と国・県・市の官公庁施設が立地する「官公庁ゾーン」に分けて都市的土地利用を図ります。

「賑わいゾーン」には、獲れたての地元産魚介類や旬の野菜などを買うことができ、それらの食材を使った食事を楽しむ「Yokosuka Port Market（よこすかポートマーケット）」が平成25年3月にオープンしました。



Yokosuka Port Market
(よこすかポートマーケット)



横須賀地方合同庁舎



横須賀港内には、観音崎や猿島、走水海岸など東京湾西岸では、貴重となった自然海岸や緑地があります。このことは、東京湾内の他の港湾と比べ横須賀港の大きな特徴・財産です。横須賀港は、産業物流の場としての港湾と、自然豊かな環境に配慮した人々の憩いの場としての港湾の両立を目指しています。

また、横須賀港港湾環境計画では、地域の環境や特性に合わせて、横須賀港を「再生のエリア」、「活生のエリア」、「共生のエリア」の3つのエリアに区分するとともに、それぞれのエリアごとに基本方針を設定し、環境との共生を推進しています。

再生のエリア

～環境を修復するエリア～

(追浜地区～新港地区)の基本方針

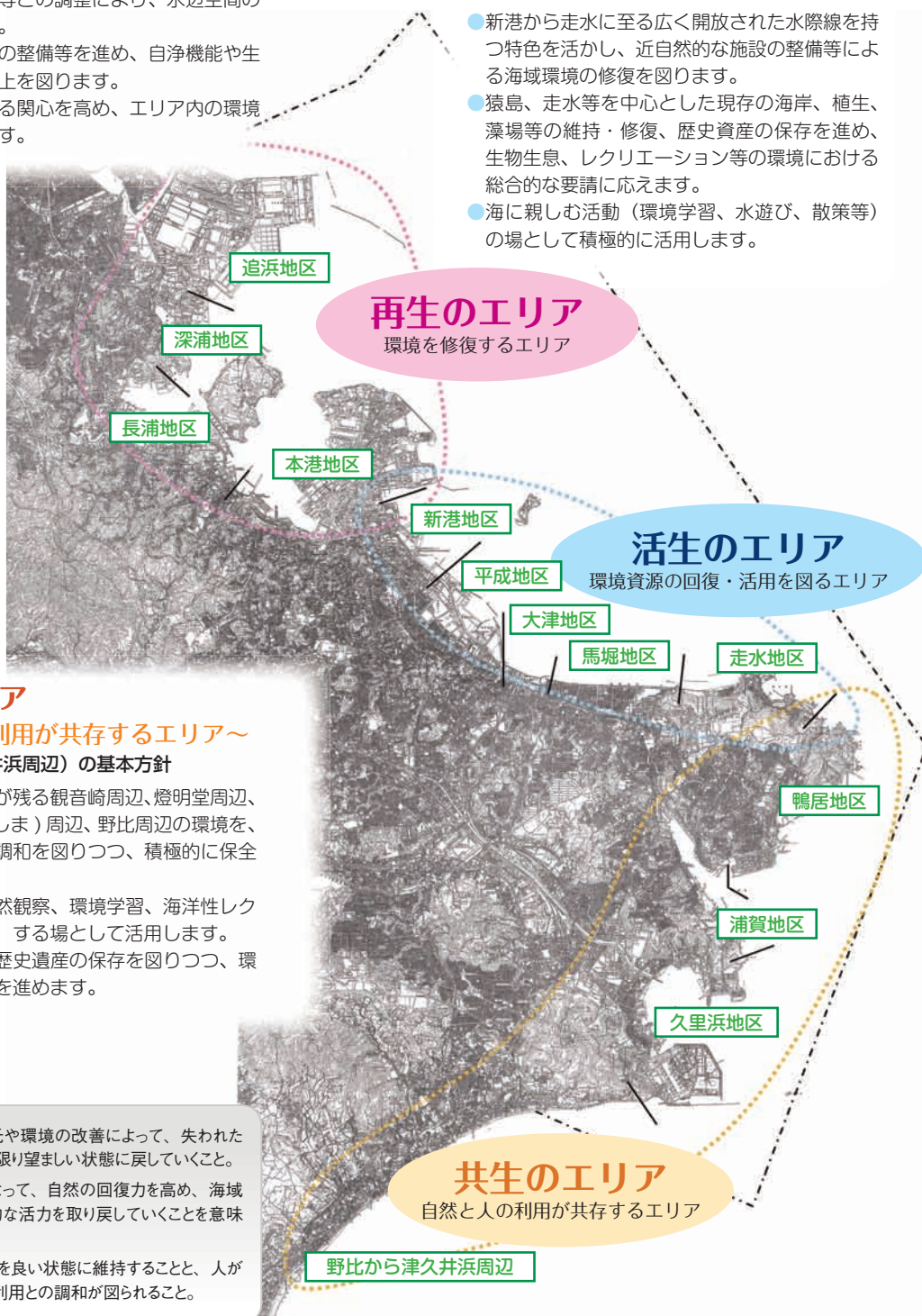
- 企業、防衛施設等との調整により、水辺空間の開放を図ります。
- 近自然的な施設の整備等を進め、自浄機能や生物生息環境の向上を図ります。
- 市民の海に対する関心を高め、エリア内の環境の再生を進めます。

活生のエリア

～環境資源の回復・活用を図るエリア～

(新港地区～走水地区)の基本方針

- 新港から走水に至る広く開放された水際線を持つ特色を活かし、近自然的な施設の整備等による海域環境の修復を図ります。
- 猿島、走水等を中心とした現存の海岸、植生、藻場等の維持・修復、歴史資産の保存を進め、生物生息、レクリエーション等の環境における総合的な要請に応えます。
- 海に親しむ活動（環境学習、水遊び、散策等）の場として積極的に活用します。



共生のエリア

～自然と人の利用が共存するエリア～

(走水地区～津久井浜周辺)の基本方針

- 自然海岸と藻場が残る観音崎周辺、燈明堂周辺、海獺島（あしかしま）周辺、野比周辺の環境を、港湾等の利用と調和を図りつつ、積極的に保全します。
- 自然を体感（自然観察、環境学習、海洋性レクリエーション等）する場として活用します。
- 浦賀、久里浜の歴史遺産の保存を図りつつ、環境の復元・修復を進めます。

※再生：近自然の復元や環境の改善によって、失われた環境を可能な限り望ましい状態に戻していくこと。

※活生：環境修復によって、自然の回復力を高め、海域の持つ潜在的な活力を取り戻していくことを意味する造語。

※共生：現存する自然を良い状態に維持すること、人が求める様々な利用との調和が図られること。



横須賀港は、1865年（慶応元年）に徳川幕府の勘定奉行のおぐれこうまげのすけただまさ小栗上野介忠順とフランス人技師フランソワ・レオンス・ヴェルニーが、横須賀村に製鉄所（後に造船所）を建設したことを起源としています。1884年（明治17年）に横須賀鎮守府が設置されて以来、軍港として発展してきましたが、終戦後、旧軍港市転換法の施行により、横須賀市が「平和産業港湾都市」として新たな歩みを始めたのに合わせ、港は旧軍施設を転用し、緊急食糧の輸入・保管が行われるようになりました。

1948年（昭和23年）に貿易港としての指定を受けたのち、1951年（昭和26年）には、港湾法により、重要港湾（国際海上輸送網または国内海上輸送網の拠点となる港湾、国の利害に重大な関係を有する港湾）及び、準特定重要港湾（国内産業開発上特に重要な港湾）に指定され、1953年（昭和28年）には、横須賀市が港湾管理者となりました。その後、2010年（平成22年）には、重点港湾（重点的に投資する「選択と集中」を港湾政策にも徹底するという目的で国土交通大臣が指定した港湾）に指定されました。

横須賀港関連	社会の動き
鎌倉、室町時代 浦賀・深浦が海運の港として活発に利用されていた 走水は房総半島への渡海の地だった	
1607（永禄 8） このころから外国貿易が盛んになる	
1632（寛永 9） 走水奉行が番所を設置	
1720（享保 5） 浦賀奉行所が置かれる	
1853（嘉永 6） ベリーが浦賀に来航、のち久里浜に上陸	
1865（慶応元） 横須賀製鉄所建設	1868 明治維新
1884（明治17） 東海鎮守府が横浜から移転、横須賀鎮守府となる	
1903（明治36） 横須賀海軍造船所が横須賀海軍工廠となる	
1907（明治40） 横須賀市制施行	1905 日露戦争終戦
1911（明治44） 浦賀港への入港船舶数が年間8,400隻を超える	
1915（大正 4） 横須賀港開港50周年	1918 第一次世界大戦終戦
1925（大正14） 安浦港竣工	1929 世界恐慌
1937（昭和12） 港湾計画策定	1937 日中戦争始まる
1941（昭和16） 横須賀軍港の副港として久里浜港工事着手	
1945（昭和20） 終戦、港湾施設が接収される	1945 第二次世界大戦終戦
1946（昭和21） 長浦地区の接収施設の一部が返還され、緊急食糧受入港となる	
1948（昭和23） 横須賀港が貿易港としての指定を受ける	
1951（昭和26） 横須賀港が重要港湾及び準特定重要港湾の指定を受ける	1950 朝鮮戦争始まる
1953（昭和28） 横須賀市が港湾管理者となる（長浦・久里浜に港湾事務所設置）	1951 日米安全保障条約調印
1960（昭和35） 久里浜～浜谷谷港（千葉県）航路開設（東京湾フェリー㈱）	1957 世界初人工衛星打ち上げ成功
1965（昭和40） 横須賀港開港100周年 久里浜ふ頭竣工	1964 東海道新幹線開業 東京オリンピック開催
1974（昭和49） 新港ふ頭竣工 米ロサンゼルス港、ロングビーチ港と姉妹提携	1969 東名高速道路開通
1982（昭和57） 港湾計画改訂	1970 大阪万博開催
1992（平成 4） 平成地区埋立竣工 海辺つり公園開園	1973 第一次オイルショック
1993（平成 5） 港湾計画改訂	1978 新東京国際空港（成田空港）開港
1996（平成 8） うみかぜ公園開園 臨港道路小川三春線開通	1979 第二次オイルショック
1998（平成10） 久里浜1工区埋立竣工	1982 東北・上越新幹線開業
1999（平成11） 浦賀・鴨居地区埋立竣工	1990 国際花と緑の博覧会開催
2001（平成13） 久里浜2工区埋立竣工	1995 阪神・淡路大震災
2002（平成14） 久里浜一大島航路開設（東海汽船㈱）	1997 京都議定書採択
2003（平成15） 横須賀港港湾管理者50周年	1998 長野オリンピック開催
2004（平成16） 久里浜一大分航路就航（㈱シャトル・ハイウェイ・ライン） ～平成19年	2000 九州・沖縄サミット
2005（平成17） 港湾計画改訂、港湾環境計画策定 馬堀海岸高潮対策護岸竣工	2001 小泉内閣発足
2007（平成19） 横須賀市制100周年	2002 FIFAワールドカップ日韓大会開催
2008（平成20） 久里浜3工区埋立竣工 大津1工区埋立竣工	2005 愛・地球博開催
2009（平成21） 野比地区侵食対策事業着手	2008 世界金融危機
2010（平成22） 本港地区埋立竣工、横須賀港が重点港湾の指定を受ける	
2012（平成24） 大津地区高潮対策事業着手	2011 東日本大震災

横須賀港の施設の状況に関する資料集

※資料集内の表中の数値は、すべて2012年（平成24年）12月末時点のものです

1. 施設の状況

1 港湾区域

横須賀港の港湾法に基づく港湾区域は、横須賀市夏島町地先最北端（北緯35度19分49秒、東経139度38分26秒）の地点、同地点から63度50分2.470mの地点、同地点から46度30分1.450mの地点、観音崎灯台（北緯35度15分22秒、東経139度44分43秒）から90度1,000mの地点及び同地点から海瀬島澄標（北緯35度12分43秒、東経139度44分07秒）を見越し7,000mの地点を順次に結んだ線、同地点から290度に引いた線並びに陸岸により囲まれた海面で、その面積は55,255,100㎡であり、海岸線の延長は61,290mである。

2 港湾区分

港区	面積 (㎡)	港則法による境界	停泊すべき船舶
第1区	1,818,200	吾妻崎から119度に引いた線（以下A線という。）、荒三塚ノ鼻から240度に引いた線（以下B線という。）及び陸岸により囲まれた海面	各種船舶及び係留施設に係留する場合における危険物を積載した船舶。ただし、雑種船は、沿岸付近に限る。
第2区	1,410,400	吾妻島北端から331度に引いた線（以下C線という。）、B線及び陸岸により囲まれた海面	
第3区	8,925,300	住友重機械横須賀製造所横須賀造船工場艀装岸壁南端から東北防波堤西端まで引いた線、同防波堤、横須賀港東北防波堤東灯台（北緯35度19分09秒東経139度40分31秒）から北緯35度18分32秒東経139度41分58秒の地点まで引いた線、同地点（以下D地点という。）から215度に引いた線（以下E線という。）、A線、C線及び陸岸により囲まれた海面	各種船舶及び係留施設に係留する場合における危険物を積載した船舶。
第4区	10,086,900	D地点から0度に引いた線（以下F線という。）、第3区境界線、港界線及び陸岸により囲まれた海面	各種船舶及び危険物を積載した船舶。
第5区	21,858,400	観音崎灯台から90度に引いた線（以下G線という。）、E線、F線、港界線及び陸岸により囲まれた海面	各種船舶。ただし、沿岸付近に限る。
第6区	4,565,900	千代ヶ崎から70度に引いた線、G線、港界線及び陸岸により囲まれた海面	各種船舶。
第7区	6,590,000	第1区から第6区までを除いた広域内海面	各種船舶及び係留施設に係留する場合における危険物を積載した船舶。ただし、総トン数300トン未満の漁船及び雑種船は、沿岸付近に限る。

3 水域施設

a) 泊地

種別	地区	名称	面積 (㎡)	水深 (m)
被覆内	追浜地区 (第3区)	夏島泊地	229,100	-12.0
		長浦地区 (第2区)	長浦1号泊地	102,900
		長浦2号泊地	293,000	-10.0
	本港地区 (第1区)	本港1号泊地	217,000	-10.0
	新港地区 (第3・5区)	新港泊地	593,700	-10.0
	浦賀地区 (第6区)	浦賀1号泊地	239,130	-6.5
		浦賀2号泊地	20,250	-5.0
		浦賀3号泊地	101,550	-8.5
	久里浜地区 (第7区)	久里浜1号泊地	476,200	-9.0
		久里浜2号泊地	40,778	-7.5
久里浜3号泊地		68,222	-9.0	
久里浜A錨地B錨地		207,300	-35.0	
被覆外	第4区 (検査錨地)	港外泊地	6,136,050	-9.0
計			8,725,180	

b) 船だまり

地区	名称	面積 (㎡)	水深 (m)
深浦地区 (第2区)	深浦船だまり	114,000	-3.0
長浦地区 (第2区)	船越船だまり	45,300	-4.4
	田浦船だまり	44,440	-4.4
	長浦ふ頭船だまり	38,080	-3.0
本港地区 (第1区)	吉倉船だまり	38,800	-4.0
	逸見船だまり	104,550	-5.0
平成地区 (第5区)	平成船だまり	42,056	-5.0
浦賀地区 (第6区)	東浦賀船だまり	32,550	-5.0
	西浦賀1号船だまり	14,950	-2.5
	西浦賀2号船だまり	14,410	-5.0
久里浜地区 (第7区)	久里浜北船だまり	20,400	-4.5
計		509,536	

4 係留施設

a) 岸壁、棧橋、浮棧橋（-4.5m以上）

種別	地区	名称	延長(m)	水深(m)	接岸能力(D/W)	船席
公 共	追浜	夏島岸壁	120	-4.5	700	1
	長浦	長浦ふ頭岸壁	153	-9.0	10,000	1
		長浦ふ頭1号棧橋	63	-10.0	15,000	1
		長浦ふ頭2号棧橋	137	-10.0	15,000	1
		長浦ふ頭棧橋内側	200	-5.0	500	1
		新港1号岸壁	200	-10.0	15,000	1
	新港	新港2号岸壁	200	-10.0	15,000	1
		新港3号岸壁	240	-4.5	700	4
		新港4号岸壁	65	-4.5	700	1
		新港1号棧橋	90	-5.5	2,000	1
		新港2号棧橋	90	-5.5	2,000	1
		新港3号棧橋	130	-7.5	5,000	1
	平成	平成1号岸壁	120	-4.5	700	2
		平成2号岸壁	270	-5.5	2,000	3
		平成突堤式棧橋	71	-6.5	-	—
	久里浜	久里浜岸壁	220	-6.5	3,000	2
		久里浜1号岸壁	260	-7.5~-9.0	16,000G/T	1
		久里浜2号岸壁	80	-5.0	1,000	1
		長瀬岸壁	140	-4.5	700	2
	計			2,849		

※長浦地区の係留施設は、平成25年9月末まで利用可能。なお、長浦ふ頭1号棧橋、長浦ふ頭2号棧橋は荷役制限実施中。
管理者は横須賀市。

種別	地区	名称	管理者	延長(m)	水深(m)	接岸能力(D/W)	船席
専 用	追浜	住重追浜造船所艀装岸壁	住友重機械工業(株)	656	-9.0	300,000	2
						200,000	
		住重追浜造船所水切岸壁	//	60	-6.0	700	1
		海洋研究開発機構岸壁	(独)海洋研究開発機構	250	-5.5	2,800G/T	2
		日産1・2号棧橋	日産自動車(株)	435	-12.0	34,000G/T	2
		日産3・4号棧橋	//	260	-7.5~-10.0	15,000	2
		日産5号棧橋	//	90	-5.5	2,000	1
	日産6号棧橋	//	185	-10.0	18,000	1	
	長浦	海上保安部第5号浮棧橋	第三管区海上保安本部	40	-5.0	-	2
	新港	シーボニア浮棧橋	(株)エスパルスドリームフェリー	20	-6.7	-	1
	浦賀	高知屋造船所突堤	湘南サニーサイドマリーナ(株)	33	-5.0	700	1
		住重浦賀工場1号ドック岸壁	住友重機械工業(株)	50	-5.0	1,000	1
		住重浦賀工場東岸岸壁	//	545	-6.5~-9.0	33,000	3
		住重浦賀工場機関艀装岸壁	//	60	-5.0	2,000	1
	久里浜	東電B岸壁	東京電力(株)	100	-5.0	1,000	1
		東電C岸壁	//	416	-9.0	10,000	2
		東電D岸壁	//	282	-11.5	10,000	1
		東京湾フェリー(株)1号棧橋	東京湾フェリー(株)	74	-5.5	3,580G/T	1
		東京湾フェリー(株)2号棧橋	//	71	-5.5	3,580G/T	1
	計				3,627		
合計延長				6,476m	船席	52席	

b) 物揚場・棧橋・浮棧橋・船揚場（水深-4.5m未満）

施設数と延長		合 計	
		施設数	延長 (m)
公共用	物 揚 場	34	2,494
	棧 橋	12	295
	浮 棧 橋	10	165
	船 揚 場	13	1,015
	計	69	3,969
専用	物 揚 場	3	263
	棧 橋	5	205
	浮 棧 橋	15	3,064
	船 揚 場	2	219
	計	25	3,751
合 計		94	7,720

※米軍・防衛省、ボートパークを除く

c) 係留浮標（公共用）

地区名	名称	最大係船能力(トン)
長浦	N ₁₀	800
	N ₁₂	800

※ボートパークを除く

d) ボートパーク

地区名	名称	艇長 (m)	係留可能隻数
深浦	深浦ボートパーク浮棧橋	~12	99
	深浦ボートパーク係船浮標	-	20
浦賀	浦賀ボートパーク浮棧橋	~10.5	65

※放置艇対策事業としてボートパークを整備

5 駐車場

区分	深浦ボートパーク駐車場	浦賀ボートパーク駐車場	うみかぜ公園駐車場		海辺つり公園駐車場
	普通自動車	普通自動車	大型自動車	普通自動車	普通自動車
台数	53	10	2	182	95

6 荷さばき施設と保管施設

a) 荷さばき地

所在地	浦郷	深浦	長浦	新港	平成	西浦賀	長瀬	久里浜	合計
面積 (㎡)	1,902	591	11,864	17,372	30,568	2,919	9,086	16,316	90,618

b) 野積場

所在地	新港	久里浜	合計
面積 (㎡)	44,032	28,399	72,431

c) 上屋及び倉庫

種 別	名 称	所在地	経営者	棟数	総床面積 (㎡)	構 造		
						主要用材	階数	
上屋	公共 専用	新港上屋	新港ふ頭	横須賀市	1	2,312	鉄骨鉄筋コンクリート	一部2階
				民間	1	280		
倉庫	専用		民間	32	75,447			

7 給水施設（公共用）

種 類	給水場所	数 量	摘 要
水 栓	長 浦 ふ 頭 棧 橋	8 栓	口径65ミリ
	長 浦 ふ 頭 岸 壁	4 栓	//
	新 港 1 号 棧 橋	3 栓	//
	新 港 2 号 棧 橋	2 栓	//
	新 港 3 号 棧 橋	2 栓	//
	新 港 1 号 岸 壁	4 栓	//
	新 港 2 号 岸 壁	4 栓	//
	新 港 3 号 岸 壁	2 栓	//
	新 港 4 号 岸 壁	1 栓	//
	平 成 2 号 岸 壁	3 栓	//
	浦 賀 物 揚 場	2 栓	//
	久 里 浜 岸 壁	4 栓	//
	久 里 浜 1 号 岸 壁	1 栓	//
	久 里 浜 2 号 岸 壁	1 栓	//

※経営者は横須賀市

8 港湾環境整備施設（公共用）

種別	名称	延長 (m)
海浜	走 水 海 浜	965
	観 音 崎 海 浜	190
	た た ら 浜	210
緑地	浦 郷 み な と 緑 地	2,715
	新 港 地 区 緑 地	8,512
	う み か ぜ 公 園	52,506
	平 成 地 区 緑 地	12,433
	海 辺 つ り 公 園	23,148
	西 浦 賀 み な と 緑 地	3,588
	久 里 浜 み な と 緑 地	2,789
その他	走水観音崎遊歩道	1,740

2. 港湾施設使用料

施設名	使 用 料 金			
岸壁・棧橋・物揚場	定期船	船舶の総トン数1トンごと 係留時間24時間までごとに		5円
	定期船以外の船舶	船舶の総トン数1トンごと 係留時間24時間までごとに		11円
係船浮標	総トン数 1,000トン未満	の船舶	係留時間24時間までごとに	4,700円
	総トン数 1,000トン以上 3,000トン未満	の船舶	係留時間24時間までごとに	9,400円
	総トン数 3,000トン以上 5,000トン未満	の船舶	係留時間24時間までごとに	14,100円
	総トン数 5,000トン以上 10,000トン未満	の船舶	係留時間24時間までごとに	21,100円
	総トン数 10,000トン以上 15,000トン未満	の船舶	係留時間24時間までごとに	35,200円
総トン数 15,000トン以上	の船舶	係留時間24時間までごとに	42,300円	
上 屋	新 港	専用使用	1㎡までごとに 1月	750円
		一般使用	貨物搬入の日から15日まで 1㎡または1トンまでごとに 1日	17円
			貨物搬入の日から16日以後 1㎡または1トンまでごとに 1日	33円
荷さばき地	長浦港、浦賀港 及び久里浜港 (久里浜1号・長瀬)	専用使用	1㎡までごとに 1月	100円
		一般使用	貨物搬入の日から15日まで 1㎡までごとに 1日	4円
	貨物搬入の日から16日以後 1㎡までごとに 1日		7円	
	新港、平成港 及び久里浜港 (久里浜2号・3号)	専用使用	1㎡までごとに 1月	162円
		一般使用	貨物搬入の日から15日まで 1㎡までごとに 1日	6円
貨物搬入の日から16日以後 1㎡までごとに 1日	9円			
野 積 場	専用使用	1㎡までごとに 1月	162円	
	一般使用	貨物搬入の日から15日まで 1㎡までごとに 1日	6円	
		貨物搬入の日から16日以後 1㎡までごとに 1日	9円	
船舶給水	5㎡まで 5㎡を超える1㎡までごとに ただし、執務時間外に船舶給水を行う場合は、その料金の額に5割を加算する。			3,700円 740円
船舶給電	1キロワット1時間までごとに			79円
駐 車 場	料金は「1. 施設の状況 (5) 駐車場」を参照			



〒238-8550 神奈川県横須賀市小川町11番地
横須賀市港湾部
電話:046(822)8439 FAX:046(826)3210
URL:[http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/6620/
minato/kikaku/index.html](http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/6620/minato/kikaku/index.html)
E-Mail:pp-ph@city.yokosuka.kanagawa.jp



※このパンフレットは、2,000部作成し、1部あたりの印刷費は131円です。